

## 様々な海洋体験活動を通じた海の理解と環境保全

- 1 自治体名： 慶尚南道
- 2 発表者名（所属名）： チョン・ヒユン  
（統営中学校、サークル名： パダヤ サラン海-「海よ。愛している」）
- 3 活動名： 様々な海洋体験活動を通じた海の理解や環境保全
- 4 活動期間： 2014年3月～現在
- 5 活動場所： 慶尚南道統営市海岸一帯
- 6 活動参加人数： 合計 29名
- 7 活動を始めた経緯

- このサークルは科学や環境が好きな学生で結成された自律サークルです。

活動について討論していた中で、環境問題に関する意見が提示され、それから活動を始めました。2014年3月から活動を始め、昨年は捨てられたペットボトル、ガラス瓶、PVC管（塩化ビニール管）、木の板などを利用して創作楽器を作る活動をし、2015年3月からはサークルの近くに位置している統営の海の環境について興味を持ち、活動を始めました。歴史や文化の伝統都市であり、海洋水産活動を大事にしている都市である統営の海洋水産について理解し、さらに海洋環境の重要性に目覚め、海洋保全活動を持続的に推進しています。

### 8 発表要旨（図表を含む）

- この“パダヤ サラン海”は海洋水産都市である統営に住んでいる学生として 統営の海洋水産について、様々な活動を通じて理解を深めることや、さらに海洋環境の重要性に目覚めようという目標で ‘様々な海洋体験活動を通じた海の理解や環境保全’ という主題を決めました。それに合わせて地元にある海洋水産に関連する施設を探訪し、海洋環境保全活動のためのボランティア活動を推進しました。
- 2014年には周辺に捨てられている ペットボトル、ガラス瓶、PVC管、木の板などを活用して創作楽器を作る活動をしました。楽器がどのような原理で作られるのか科学的な探求もしましたが、周りに捨てられているゴミを再活用し、学生が直接手入れして仕上げた立派な創作楽器に生まれ変わる様子を見て、学生達は達成感を感じたりもしました。直接作った楽器を自由に叩いたり、演奏しながら、学生達はたくさん楽しむこともできましたが、それと共に環境の大切さや資源の重要性について深く考えるきっかけにもなりました。
- 2015年には海洋水産科学の都市である統営で海洋水産に関連する様々な施設を訪問し、海について探求したり、さらに海洋水産環境に対する大切さについて目覚める趣旨でも活動しています。学校活動では接する事ができない海洋水産のことは直接水産科学館や近隣の水産研究所を訪ねて探求をし、下水終末処理場を訪問し、我々が使った下水がどのように処理され、浄化され海に流れているのかについて知る活動をしました。このような様々な活動を通じて統営の海の環境に対するいろいろな問題について知ることができ、さらに海洋環境保全のために海洋ゴミの回収ボランティアを持続的に行っています。
- このような活動を進めながら統営の海洋水産について深く理解し、さらに海洋環境保全の重要性を知らせたいです。

### 9 発表時の発表媒体の有無

- 発表媒体： パワーポイント (PPT)
- 発表内容： ‘パダヤ サラン海’ の活動内容及び期待効果の提示
- 発表目次
- 緒論： 地元である統営は RCE 都市であり、海洋水産活動の都市として海洋環境の重要性
- 本論： ‘パダヤ サラン海’ サークルの活動結果や今後の活動計画
- 結論： サークル活動を通じての期待効果発表及び仕上げ